

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	栽培と環境	単位数	1	学年・学科	3学年・B科
教科書	実教出版「栽培と環境」		副教材				

学習目標	○栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにします。 ○栽培と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養います。 ○栽培と環境について農業生物の栽培や管理に応用できるようみずから学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的にとり組む態度を養います。
学習方法	○学習内容をわかりやすく説明・板書します。また、学習プリントを活用しわかりやすい授業を行います。 ○グループワークや発表といった共同学習をとおり、学びあう活動を行います。 ○小テストや定期考査によって、知識・理解および思考・判断・表現の力を試みます。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け				
			100%	40%	60%		
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	栽培植物のプロジェクト学習の過程における調査、観察、診断、実験などを通して、生育と環境要素との関係に関する知識と技術、栽培環境の管理と改善に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解している。	前期	知識・技能(技術)	35%	20%	15%
			中期	思考・判断・表現	35%	20%	15%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
			前期	知識・技能(技術)	35%	40%	60%
			中期	思考・判断・表現	35%	20%	15%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
	b 思考・判断・表現	栽培植物の生育と環境要素の実験や診断を通して、栽培環境に関する課題を発見し、環境に配慮した栽培管理と法令遵守など、職業人に求められる倫理観をもって、科学的な根拠などに基づき創造的に解決する力を養っている。	前期	知識・技能(技術)	35%	20%	15%
			中期	思考・判断・表現	35%	20%	15%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
			前期	知識・技能(技術)	35%	40%	60%
			中期	思考・判断・表現	35%	20%	15%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
c 主体的に学習に取り組む態度	栽培と環境の学習を通して、環境に負荷をかけない栽培技術や、自分で安心できる栽培植物の生産や環境の保全を目指して、自分の意思や判断に基づき、主体的かつ協働的にとり組む態度を身につけている。	前期	知識・技能(技術)	35%	20%	15%	
		中期	思考・判断・表現	35%	20%	15%	
		後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%	
		前期	知識・技能(技術)	35%	40%	60%	
		中期	思考・判断・表現	35%	20%	15%	
		後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期 中間	第5章 栽培環境－生物的要素 1節 農地の生物群集	・農地の生物的多様性の重要性について学習します。	○		○	ac：農地には作物以外にもさまざまな生物が生活していることを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	2節 害虫とその防除	・害虫の定義を理解し、それぞれの種類に応じた生態や被害の特徴、その対策について学習します。		○		b：害虫の生態を理解し、効果的な防除法を選択することができる。	
前期 末	3節 作物病害とその防除	・作物病害について病気が起こるしくみや伝染のしかたを理解し、防除について学習します。	○		○	ac：病原体の種類について整理しまとめることで、関連付けた防除法を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	4節 雑草とその防除	・雑草の定義を理解し、生活環による分類を学び、生態と被害からなる適切な防除法について学習します。		○		b：雑草の定義を理解し、効果的な防除法を選択できる。	
後期 中間	5節 鳥獣害とその防除	・鳥獣害について地域に応じた種類と被害状況を理解し、防除法について学習します。	○		○	ac：地域で被害の多い鳥獣について調査し、地域の生態系を理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	6節 農業とその使用法	・農業の役割や種類を通して使用法と安全対策について学習します。		○		b：農業の用途や剤型に応じた分類を理解し、整理してまとめることができる。	
後期 末	第6章 施設型農業と栽培環境 2節 ハウス・温室内の気象・土壌的要素の管理	・温室、ハウスの環境、管理方法について学習します。	○		○	ac：施設型農業経営の利点と課題を整理してまとめることができる。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	4節 複合的な環境管理と経営	・環境制御のための設備と資材について学習します。		○	○	bc：園芸施設の種類を理解し、栽培する作物に適した環境制御を行うことができる。	